

再評価結果（平成21年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：深澤 淳志

事業名：一般国道17号 <small>むいかまち</small> 六日町バイパス	事業区分：一般国道	事業主体：国土交通省 北陸地方整備局
起終点：自：新潟県南魚沼市竹俣 至：新潟県南魚沼市庄之又	延長：5.1 km	
事業概要：国道17号六日町バイパスは、市街地の慢性的な交通渋滞の緩和や良好な沿道生活環境の確保、主要幹線道路として重要な役割を担う国道17号の機能向上を目的とした延長5.1kmのバイパス事業である。		
H6年度事業化	H5年度都市計画決定	H10年度用地着手
H12年度工事着手		
全体事業費	340 億円	事業進捗率
計画交通量	15,000 ~ 19,600 台/日	供用済延長
		0.6 km
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.3 (残事業) 2.4	総費用 (残事業)/ (事業全体) 166 / 320 億円 (事業費：153/305 億円) (維持管理費：13/15 億円)
		総便益 (残事業)/ (事業全体) 406 / 417 億円 (走行時間短縮便益：335 / 346 億円) (走行経費減少便益：55 / 55 億円) (交通事故減少便益：16 / 16 億円)
		基準年：平成20年度
感度分析の結果：残事業について感度分析を実施 交通量変動：B/C=2.2~2.7(交通量±10%) 事業費変動：B/C=2.2~2.7(事業費±10%) 事業期間変動：B/C=2.3~2.6(事業期間±20%)		
事業の効果等 ・円滑なモビリティの確保（現道等の年間渋滞損失時間の削減） ・安全で安心できるくらしの確保（三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる） ・生活環境の改善・保全（現道の騒音レベルの低減）		
関係する地方公共団体等の意見 六日町バイパスは、交通混雑の緩和や沿道居住環境の改善等に重要な役割を果たすことが期待されており、南魚沼市をはじめとする関係8市4町1村の首長で構成される中越地区国道事業促進協議会等より早期整備の要望を受けている。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 当該地域は平成17年までの市町村合併により南魚沼市となり、当該事業は新市の幹線道路として高速交通機能の充実に寄与することが期待されている。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 平成19年度に延長0.6kmを暫定2車線で部分供用しており、現在、供用済み区間に隣接する小栗山地先の平成21年度暫定2車線供用に向けて事業を推進中である。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 平成20年代半ばの全線暫定2車線供用、及び平成30年代初頭の全線完成4車線供用を目指し、順次用地買収、改良工事を推進している。		
施設の構造や工法の変更等 当該事業箇所は軟弱地盤であり、その対策としてプレロード盛土、サーチャージ盛土を実施している。沈下収束後、その盛土材を現場内で転用しコスト縮減に努めている。		
対応方針	事業継続	
対応方針決定の理由	事業の必要性、効果並びに事業の実施状況を踏まえ、事業の継続が妥当である。	
事業概要図		

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。